

市会議員になって、うれしかったことは？

市民の皆さんとご一緒に、住民要求運動に取り組み、議会で繰り返し取り上げ実現できたことです。

❖御園橋の架け替えは、20年前の立候補の時から、署名活動に取り組み、議会でも繰り返し質疑してきました。長くかかりましたが、今、やっと橋の半分が出来上がりました。

❖西賀茂地域にバスを走らせる活動も、地域の皆さんの声を議会に届けてきました。地域の自治連合会の皆さんや北区役所も取り組みが進む中で、「市バス特37号」が走り出しました。引き続き、増便と延伸に向けて取り組んでいきます。

❖雲ヶ畑地域の産業廃棄物処理施設では、焼却施設で高濃度のダイオキシンを出していることで、焼却施設が廃止されたのも地域の皆さんの長年の調査活動の賜物です。



玉本市議に聞いてみよう！

Q&A

子育て支援として取り組みたいことは？

❖子どもの医療費の助成拡充をしたい。住む所によって、子どもの医療費が違うというのは、納得できません。京都市以外の市町村ですでに小学校や中学校卒業まで、子どもの医療費はほぼ無料になっています。京都市の子どもたちの命をまもるために頑張ります。

❖全員制の中学校給食の実現をしたい。育ち盛りの中学生の成長と発達を保障するために、温かくて美味しい給食を実現するために頑張ります。



悔しかったことや引き続き取り組みたいことは？

❖医療介護の現場の声を議会に届け、介護保険制度等の改善をさせることが政治家になるきっかけでした。京都市会だけでなく、厚労省にも行き、介護現場の大変さと改善点を提案してきましたが、安倍政権の下で、「保険あって介護なし」の実態が深刻になっています。「このままにはしておけない」というのが率直な思いです。高齢者の方が安心して、過ごせる保障にもなる介護保険制度の改善に向け、引き続き頑張ります。

❖京都市立看護学校を廃止し、京都市営の保育園を民間移管してしまったことは震えがおさまらないほどの怒りでした。「民間ができることは民間に」を合言葉のように市政の役割を後退させる市長のやり方は許せません。市政を革新し、市民が主人公となる京都市政に転換したいです。

これから実現したいことは？

❖敬老乗車証を今の制度で守ること。

❖災害に強い街づくりをすすめ、市民の暮らしを守る。台風は避けられなくても、台風が来るたびに倒木して、停電になることは、倒木



対策をすることで防げます。個人任せではなく、行政や政治が支援すべきです。「日本共産党が日本を守る」という意気込みで頑張りたいです。

❖LGBT等の性的マイノリティの方を含め、生きづらい社会の中で、自らの命を絶つなんてことをさせない社会の実現に向け、取り組みを続けたいと思っています。



日本共産党

京都市会議員

玉本なるみ 市会

たまもとなるみ

京都大学医療技術短期大学部看護学科卒、京都府立保健婦専門学校卒。看護師、保健師。56歳。京都民医連のナースとして13年。訪問看護ステーション所長、在宅介護支援センター長歴任。市会議員5期20年。教育福祉委員会副委員長、議会運営委員会理事。京都人権擁護委員歴任（2013～15年）。新日本婦人の会北支部委員 上賀茂健康友の会顧問。かも川生活と健康守る会顧問。LGBT自治体議員連盟所属。

身近な議員として アンテナ

月2回発行するニュースでは、子育ての悩みや思いを書いてきました。子ども達も大きくなり、最近では最愛の父との別れや、母の介護を通しての問題や感じることを書いています。共感していただけることがあるのだと思います。「よく、アンテナ読んでもよ」と感想を寄せていただけることがあり、張り合いになっています。

政治家であると同時に母親であり、娘であり、一市民である目線を大事にしていきたいと思っています。

働きすぎて命がなくなる
そんな働き方を促進する
政治は許せない
「ご苦労されてきた高齢者に
「早よう死にたい」と
言わせる政治は
絶対におかしい
命を何よりも大切に
政治の実現をめざして
頑張ります

